

もやもや フィールドワーク

東京
迂回路
研究



報告と対話編 第8回

第1部 報告：当事者研究とその文化—べてるまつりに参加した経験から

第2部 対話：哲学カフェ「文化が生まれるところとは」

平成27年 9月17日(木) 19:00～21:00 (開場：18:45)

会場：芝の家(東京都港区芝3-26-10)

定員：15人程度(要事前申し込み。定員に達しだい、申し込みを締め切らせていただきます。)

参加費：500円(介助者1名無料)

報告：三宅博子、石橋鼓太郎(多様性と境界に関する対話と表現の研究所)

進行：井尻貴子(多様性と境界に関する対話と表現の研究所)

昨年度より、「東京迂回路研究」のプログラムのひとつとして実施してきた対話型実践研究「もやもやフィールドワーク」。「報告と対話編」では、都内各所の医療・福祉施設やケアに関わる団体、活動現場に関する調査の報告とそれに基づいたテーマ設定による対話を行ってきました。

今回は、北海道浦河町にある精神障害のある人などの地域活動拠点「べてるの家」が主催する「べてるまつり」へ参加した経験から、当事者研究とその文化について考えてきたことを報告します。

また、後半は、哲学カフェのスタイルで、その場に集まった人たちが、進行役のもと、〈話す—聴く〉を丁寧に積み重ねてじっくり考える対話の場を持ちます。

分野を問わず、関心のある方のご参加をお待ちしています。

主催：東京都、アーツカウンシル東京(公益財団法人東京都歴史文化財団)、特定非営利活動法人 多様性と境界に関する対話と表現の研究所

申し込み方法(E-mailまたは電話)

E-mailの場合は件名を「報告と対話編 第8回申し込み」とし、①お名前、②ご職業、ご所属等、③ご連絡先(当日ご連絡可能な電話番号)をお知らせください。

※お預かりした個人情報は、主催者からのご案内のみに使用し、厳重に管理します。

お問い合わせ・お申し込み先

特定非営利活動法人

多様性と境界に関する対話と表現の研究所

TEL 070-6437-3599

E-mail info@diver-sion.org

会場案内

芝の家
東京都港区芝3-26-10

JR田町駅

都営三田駅

より徒歩10分



「東京迂回路研究」とは

“障害、ケア、労働、住処、ジェンダーやセクシュアリティ、国籍……社会のなかにある多様な生き方と、そのひとつひとつに引かれている境界線。しかしその線引きは、ふとした瞬間に揺れ動き、ずれを生み、つなぎ変わってゆくことがある。だとしたら、「わたしたち」は、生きるなかで言いようのないもどかしさややりきれなさ、つらさやしんどさなどを感じたとしても、抜け道をみつけたら、寄り道をしたりすることで、既存の枠組みや境界をずらし、歩きぬくことができるのではないだろうか。”

そのような考えから、平成26年度より開始されたプロジェクト。社会における人々の「多様性」と「境界」に関する諸問題に対し、調査・研究・対話を通じて、「生き抜くための技法」としての「迂回路」を探求する。

www.diver-sion.org/tokyo/